

旭川龍谷高等学校 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必／選	コース／フィールド
国語	古典探究	3	3	必	特進コース／文武B
科目の目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
教科書	「古典探究古文編」 「古典探究漢文編」数研出版	副教材等	「古文単語 3 1 5」(桐原書店) 「体系古典文法」(数研出版) 「体系漢文」(数研出版)		

1. 学習の到達目標

1 学年の「言語文化」や2 学年の「古典探究」の学習をふまえて、古典を通して我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。また古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、日本語の変遷や古文漢文の読解力を高める。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)、Y(思考・判断・表現)、Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
古文 歴史物語 大鏡 ・三船の才	6	4	出来事の推移と人物像・心情を読み取ることができる。敬語表現について理解を深め、登場人物の関係性を読み取る。	○	○	○
・南院の鏡射	8	5		○	○	○
漢文 逸話 ・知音 ・梁上君子	8	6	古来より日本人に親しまれてきた「知音」「梁上君子」の二作品を読むことで、より漢文に親しませる。	○	○	○
古文 枕草子 ・二月つごもりごろ ・宮にはじめて参りたる頃	10	6 7	本文の読解を通じて作者の人生観・世界観を読み取るとともに、批評精神を理解する。また文体的特徴についても理解する。	○	○	○
古文 蜻蛉日記 ・うつろひたる菊 ・鷹	10	8	細やかに描かれている作者の心情について正確に読解できる。古文特有の単語に熟達する。	○	○	○
漢文 史伝 ・伯夷叔斉 ・廉頗藺相如	8	9	『史記』の執筆の背景や、列伝を取り巻く主題について理解を深める。	○	○	○
古文 近世随筆 ・玉勝間 ・花月草紙	15	10	指示語の内容、接続助詞、陳述の副詞の用法などに注意して、本文の要旨を捉えさせるとともに、作者である本居宣長と松平定信の思考性についても考えを深めさせる。	○	○	○

学習内容	時 数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
古文 説話 ・古今著聞集 ・唐物語	15	11	漢文と和文の繋がりを理解するとともに、日本における異文化受容の実態について理解させる。	○	○	○
漢文 文章 ・捕蛇者説 ・師説	10	12 1	唐代の文章家である柳宗元と韓愈の文を読むことで、筆者が主張を効果的に伝えるために用いた修辞や論理展開に着目させ、説得や意思表示のために言葉を尽くす行為の普遍性を実感させる。	○	○	○
	0	2				
	0	3				